伝わるように話す①

1年　　　組　　　　番　　氏名

【はじめに･･･今の自分を振り返ろう】

　　・人前で話すことは・・・

　　　　５　得意　　　　　４　どちらかといえば得意　　２　どちらかと言えば苦手　　１　苦手

　　・わかりやすい説明をするためのポイントを・・・

　　　　５　知っている　　４　少し知っている　　　　　２　あまり知らない　　　　　１　知らない

**◎本時の目標：話し言葉の特徴を理解し、わかりやすい説明について考えよう。**

相手に伝わるように話すには、何に気をつけたらいいでしょう。　思いつくものを挙げてみよう。

　　・

　　・

　　・

**ワーク①**

　次の内容が聞き手にわかりやすく伝わるように、

・一文を短く切ったり、（スラッシュを入れる）

・意味のわかりにくい言葉を言い換えたり（傍線を引いて言い換えの言葉を書く）

して話してみよう。

修学旅行の事前学習で調査した京都について、今秋行われる文化祭でポスター発表と

ジオラマ展示をする予定でしたが、製作費が不足しそうなので、どうやったら予算内で

収まるか、私はジオラマ展示をやめたらいいと思うんですが、そういったことについて、

このホームルームの時間で議論したいと思っています。

**ワーク②**

　Ａさんは文化祭でのクラス発表・展示の企画について、クラスのホームルームで議論したことを、隣のクラスの担当者に報告しに行くことになった。

次のことを伝えたい。内容に気をつけ、どの順序で伝えれば良いか考えてみよう。

①ジオラマ展示の代わりに何か映像を映し出せないかという意見が出た。

②修学旅行の事前学習の成果をポスターにまとめて掲示することは決まった。

③ジオラマ展示は、予算と時間も足りなくなりそうだったのでやめた。

④ポスターのほかに映像を映すかは保留。機器が用意できるか要確認。

⑤隣のクラスでは何をすることになったか聞きたい。

　　【　　】→【　　】→【　　】→【　　】→【　　】

話し言葉の特徴

・その場で振り返ることができない。

・同音異義語や難しい言葉は、聞いただけでは意味が捉えにくいことがある。

話し言葉の注意点

・一文が長くなりすぎないようにする。

・重要度の低い情報は省く。

・それぞれの文章を、接続する言葉でつなぐ。

・耳で聞いてわかりやすい言葉を選ぶ。（同音異義語などに注意する）

わかりやすい伝え方とは…

○聞き手が（　　　　　　　　　　　　）を選ぶ。

○（　　　　　　　　　　）を収集し、（　　　　　　）して説明する。

○（　　　　　　　　　　）を明らかにしたうえで説明する。

○（　　　　　　　　）や（　　　　　　）を考える。

このように話し方を工夫することで、相手に伝わりやすくなります。

次回からプレゼンテーションの準備をします。

伝わりやすいプレゼンテーションを目指しましょう！